

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	林野庁 東北森林管理局 米代東部森林管理署上小阿仁支署	連絡先	0186-77-2422
所管する業務の概要	北秋田市（うち旧合川町，旧阿仁町，旧森吉町）と上小阿仁村に所在する国有林野の管理経営		

1. 基本的な心構え・行動	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
<p>(地域住民との信頼関係の構築) 地元住民が気軽に相談できる信頼関係を維持し、日々の挨拶・会話を通じ、意見・要望などを察知するよう心がけている。 その際、業務についての説明には、官庁用語や専門用語をできるだけ使用しないよう努めている。</p> <p>(国民への情報提供姿勢) 事業を実行する際、地元住民に対して、森林の整備が CO₂ の削減（地球温暖化防止）につながっていることを説明するよう努めている。</p>	<p>(接遇スキルの向上) 接遇チェックリストで×が多く付いている項目が認められた。 達成状況が良くない項目について、日々の業務の中において、職員相互に注意喚起を行う。</p> <p>(相手方への情報提供姿勢) 外部対応時に、処理に期間を要する場合、回答期限を相手方に明確に伝え、関係する課・係で共有する必要がある。</p>

2. 政策・事業等の企画立案・推進

・現在行っている取組や工夫

(政策ニーズの把握)
地元住民・自治体のニーズや意見を把握するために、各種協議会や地元行事へは積極的に参加している。

(部署間の連携)
保安林等、協議手続が進行中の案件の内、複数の課にまたがるものについては、ネット上の掲示板を活用して、各課で情報を共有している。

事業の実行にあたり、署内で打合せを実施し、事業間の調整を行っている。

外部と対応した案件については、関係部署間での情報共有に努めている。

(署と現場事務所間の連携)
現場と署の職員が一堂に会した会議を、月に1回程度開催し、業務の進捗状況の確認等を行っている。

(地域住民への対応)
地域住民への情報提供のため、工事の進捗情報を説明するチラシを作成し、配布している。

・点検によって得られた課題とその改善策

(国民への情報提供場所の確保)
地域住民に一番密接な関係にある現場事務所に、広報スペースがないので、統一的に掲示板を設置する。

(業務分担の見直し)
人事異動時期等に、業務の分担が曖昧になる点が認められる。
定期的に業務分担表を全員で見直すと共に、ネット上の掲示板を活用して共有する。

(署と現場事務所間の連携)
担当者同士で個別に対応し解決した案件の中には、全体で共有することにより、効率的に処理できるものがある。
会議の場で報告し、情報を共有する。

3. リスク管理

・現在行っている取組や工夫

(事業の発注に関するリスク管理)
発注事務の、一連の流れの中で起こりうるリスクの存在を踏まえ、マニュアル、チェックリストを独自に整理し、活用している。

ミスなどが起こりやすい業務については、二重のチェックが可能となるような確認体制を作っている。

・点検によって得られた課題とその改善策

(事業実行前のリスク管理)
住民の生活に影響を与えるような施設（取水施設など）の周辺では、安易に事業を行うと問題に発展する恐れがある。

事業の性質に応じて、事前にチェックできるようリストを作成し、リスクの低減を図る必要がある。

事業着手直前に、短期間で処理している案件には、事前準備により、的確に処理できるものがある。

担当者は、事前準備期間を十分に考慮の上、スケジュールを立て実行する。

(緊急連絡体制の整備)

緊急時の対応に係わる、連絡体制図が作成されているが、一覧性に欠けているものがあるので、情報を集約する必要がある。

また、配備箇所、掲示箇所についても再度確認を行う。

4. 食の安全に関する取組	
<p>・ 現在行っている取組や工夫</p> <p>(報道の受け止め方) 食の安全に関する新聞記事等を読む時に、自分の組織や業務に関係が薄いからといって、漠然と受け止めるのではなく、「消費者の視点は何か」を意識するよう心がけている。</p>	<p>・ 点検によって得られた課題とその改善策</p>

5. その他の重要な取組	
<p>・ 現在行っている取組や工夫</p> <p>(職員の外業先の掲示) 事業担当の職員の現場業務が多いため、ホワイトボードを設置し、行き先や帰署時間を全員が把握できるようにした。</p>	<p>・ 点検によって得られた課題とその改善策</p>